自主シンポジウム80

平成28年9月19日（月）
9：00～10：30

朱鷺メッセ306／307

知的障害教育における「育成すべき資質・能力」を育むためのアクティブ・ラーニング

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課
特別支援教育調査官　丹野哲也

本シンポジウムまでの経過

文部科学省

- H20.1　中教審答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善について」
- →「効率的な学習評価が実施できるような枠組みについて、更に専門的見地から検討を行う」
- H20.３幼、小、中、H21.3高、特別支援学校　学習指導要領等改訂
- H22.３中教審報告「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」
- →「特別支援学校における学習評価の考え方は、基本的に小・中・高等学校における学習評価の考え方と変わらないが、実際の学習評価に当たっては、児童生徒の障害の状態等を十分理解し、児童生徒一人一人の学習状況を一層丁寧に把握する工夫が求められている。」
- H28.9次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめについて（報告）

  →「観点別評価については、目標に準拠した評価の実質化や、教科・校種を超えた共通理解に基づく組織的な取組を促す観点から、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３観点に整理することが必要である」

特総研

- H24

  予備研究・調査
- H25～26「知的障害教育における組織的・体系的な学習評価の推進を促す方策に関する研究」

  H26.9特教学会

  H27.２特総研セミナー

  H27.9特教学会
- H27～28「知的障害教育における「育成すべき資質・能力」を踏まえた教育課程編成の在り方」

育成を目指す資質・能力について

① 各教科等で学んだことが、一人一人のキャリア形成やよりよい社会づくりにどのように生かされるかを見据えながら、各教科等を学ぶ意義を明確にし、各教科等において育む資質・能力を明確にすること。

② 全ての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力と教科等の関係を明確にし、言語活動やＩＣＴを活用した学習活動等といった、教科等の枠を越えて共通に行う学習活動を重視し、教育課程全体を見渡して確実に育んでいくこと。

③ 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力と教科等の関係を明確にし、どの教科等におけるどのような内容に関する学びが資質・能力の育成につながるのかを可視化し、教育課程全体を見渡して確実に育んでいくこと。

教育課程の枠組の中で実現できるようにしていくこと

次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめについて（報告）から3-

全ての教科等や諸課題に関する資質・能力に共通する要素

学びに向かう力
人間性等

学びを**人生や社会に生かそうとする**
学びに向かう力・人間性等の涵養

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

生きて働く
知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何を理解しているか、何ができるか

理解していること・できることをどう使うか

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びの質とアクテイブ・ラーニングの視点

- 「学びの過程において子供たちが、主体的に学ぶことの意味と自分の人生や社会の在り方を結びたけたり、多様な人との対話を通じて考えを広げたりすることが重要である」
- 「アクティブ・ラーニング」については、子供たちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するために共有すべき授業改善の視点として、その位置付けを明確にすることとした。」

「主体的・対話的で深い学び」の実現

① 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

② 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

③ 各教科等で習得した概念や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせ、問いを見いだして解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

○意味のある問いや課題で学びの文脈を創る
○子供が学び方を振り返り、自覚する機会を提供する

○考えるための材料
○考えを深めるための対話のある活動

○子供の多様な考えを引き出す
○手立ては活動に埋め込む

次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめについて（報告）から

国研「教育課程の編成に関する基礎的研究報告書7」参考

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

課題解決のためにアクテイブに思考し、アクティブに関わり合う授業を目指して

- 中心文に関する説明をもとに、ペアの友達と一緒に適切な中心文を選ぶことについて

様々な「対話」の在り方について

- 常に最新版の年間指導計画にアップデートしていくことについて

単元の学習評価をどのようにしているのか

千葉県立特別支援学校流山高等学園

「学校内の課題を見付け、陳情書をまとめよう」

L　選挙への関心を高める

L　選挙の意義について理解する

- 社会の課題やルールに対して視点を向け、より良くしていこうと考えられる意識を持てるようにすること

陳情書をまとめた後の学習展開について

「主体的・対話的で深い学び」の実現

異なる視点があることに気づく

①自分の視点に気付く

②友達の視点に気付く

友達が考えた中心箇所

自分が考えた中心箇所

④自分の前の視点を見直して

友達の見方を知り、自分の見方を考える

③より一般的な視点

友達がなぜその箇所を指摘したのか考える

⑤さらに別な視点があると知る

同じ問題に、違う視点から向き合い、考える

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校の事例

国研「資質・能力を育成する教育課程の在り方に関する研究報告書1」H27．3　P84を参考に作成